

光市公共施設に関するアンケート結果報告書

平成 28 年 3 月

光 市

－目 次－

I アンケート調査の概要

1	調査目的	1
2	調査対象	1
3	調査方法	1
4	調査期間	1
5	配布回収状況	1
6	調査項目	1

II アンケートの結果

1	あなた（回答者）ご自身のことについて	2
	(1) 性別	(問 1)
	(2) 年齢	(問 2)
	(3) 居住地区	(問 3)
2	あなたの光市の公共施設の利用状況について	5
	(1) 施設分類ごとの利用状況	(問 4)
	(2) 利用状況の設問で「利用していない」を選択した場合の、施設を利用しない理由について	(問 4)
3	今後の公共施設のあり方について	9
	(1) 公共施設の量・質などを最適化する取組みを進めることについて	(問 5)
	(2) 公共施設を維持していくための取組み手法について	(問 6)
	(3) 光市が将来にわたり優先的に維持すべきと考える公共施設について	(問 7)
	(4) 公共施設の廃止や統合を進めるとした場合、削減すべき施設について	(問 8)
	(5) 公共施設の量・質などを最適化する取組みが必要ないと思う理由について	(問 9)
4	公共施設使用料のあり方について	17
	(1) 公共施設の維持管理や運営の経費について	(問 10)
	(2) 施設の使用料の金額設定にあたり、考慮すべきことについて	(問 11)
5	光市の公共施設の現状や将来のあり方について	19
	(1) 光市の公共施設の現状や将来のあり方についての意見	(問 12)

(参考) 光市の公共施設に関するアンケート 調査票

I アンケート調査の概要

1 調査目的

光市では、全国の自治体と同様に、昭和 40 年代から 50 年代にかけて、人口増加や高度経済成長期を背景とした当時の行政需要に応じて、多くの公共施設を整備しており、これらの施設の老朽化が進み、これから更新時期を集中して迎えることとなります。その一方で、光市の総人口は今後も減少していくことが予測されており、年齢構成比では年少人口及び生産年齢人口の比率が減少していくなかで、老年人口の比率はしばらく上昇が続く見込みです。

こうした状況のなか、次の世代の人口規模・人口構成を見据えた長期的な視点で、これからの公共施設に求められる機能やサービスを考え、真に必要な公共施設の量・質を検討する必要があります。

このため、市民の皆様の、公共施設に対するニーズ、見直しに対する考え方などを把握し、公共施設のあり方を検討するための基本方針となる「光市公共施設等総合管理計画（～公共施設の適正配置等に関する方針～）」の策定や、公共施設マネジメントの推進にあたっての基礎資料とすることを目的とし、アンケートを実施しました。

2 調査対象

光市に住む 18 歳以上の市民から 2,000 人を抽出

3 調査方法

郵送配布・郵送回収

4 調査期間

平成 27 年 10 月 23 日から平成 27 年 11 月 6 日までの 15 日間

5 配布回収状況

回収率は 44.0%となっています。

配布数	有効配布数 A	回収数 B	回収率 B/A
2,000	1,991	877	44.0%

6 調査項目

- 1 あなた（回答者）ご自身のことについて
- 2 あなたの光市の公共施設の利用状況について
- 3 今後の公共施設のあり方について
- 4 公共施設利用料のあり方について
- 5 光市の公共施設の現状や将来のあり方について

II アンケートの結果

1 あなた（回答者）ご自身のことについて

(1) 性別（問1）

回答割合は、男性 42.1%、女性 55.6%となっています。また、回答率は、男性 38.2%、女性 47.6%となっています。

(2) 年齢（問2）

回答割合は、50代以下が 37.9%、60代以上が 60.3%となっています。また、回答率は、70代が 58.6%、60代が 57.1%となっている一方、20代が 22.2%、10代が 22.4%となっています。

(3) 居住地区（問3）

市内を4つの地域に分けたときの回答割合は、東部地域 13.6%、西部地域 35.5%、南部地域 36.4%、北部地域 13.1%となっています。また、回答率は、東部地域 47.2%、西部地域 42.0%、南部地域 47.6%、北部地域 35.0%となっています。

東部地域（岩田・岩田立野・三輪・東荷・塩田）

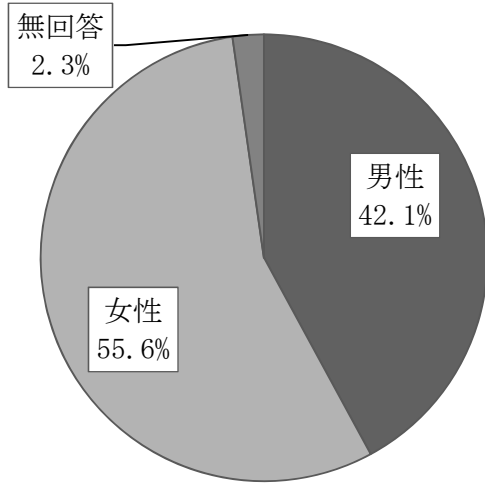
西部地域（浅江・島田・中島田）

南部地域（室積・光井・牛島）

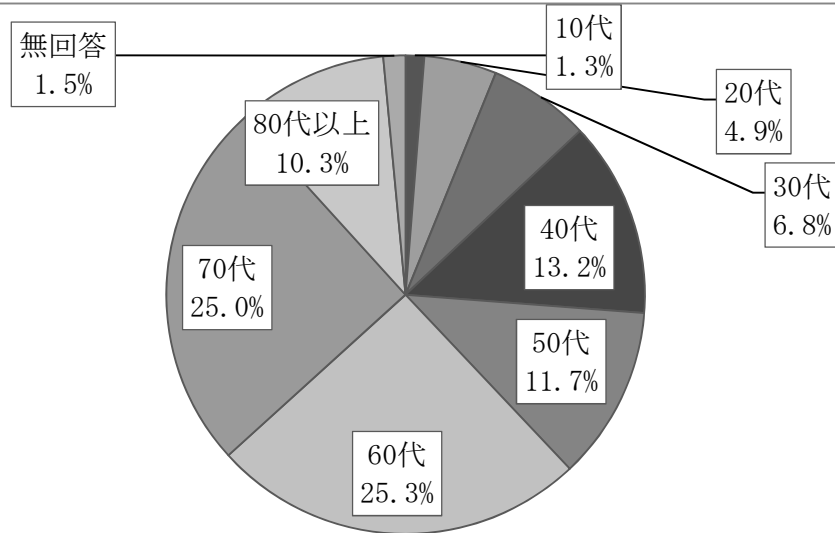
北部地域（三井・立野・小周防・上島田）

※本集計結果については、端数処理の関係で各項目の割合等は必ずしも合計欄等の数字とは一致していません。

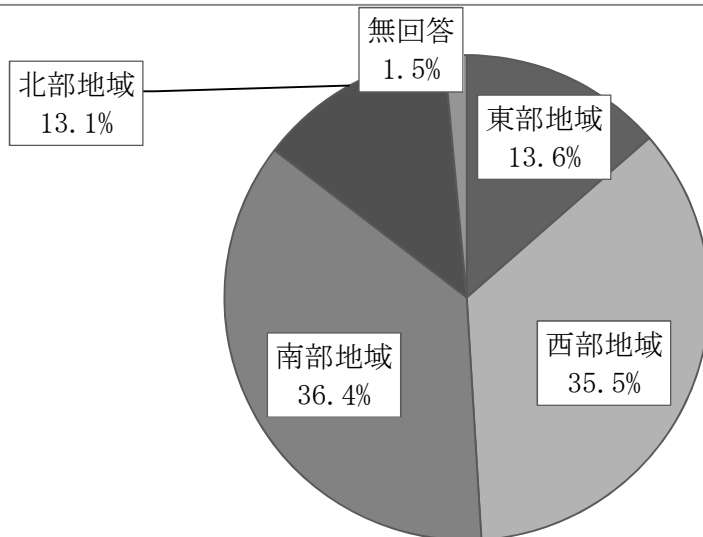
性別



年齢



居住地区



※各グラフは回答割合を示しています。

性別

		男性	女性	無回答	合計
A	配布数	966	1,025	—	1,991
	配布割合	48.5%	51.5%	—	100.0%
B	回答数	369	488	20	877
	回答割合	42.1%	55.6%	2.3%	100.0%
B/A	回答率	38.2%	47.6%	—	44.0%

年齢

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答	合計
A	配布数	49	194	212	326	228	389	374	219	—	1,991
	配布割合	2.5%	9.7%	10.6%	16.4%	11.5%	19.5%	18.8%	11.0%	—	100.0%
B	回答数	11	43	60	116	103	222	219	90	13	877
	回答割合	1.3%	4.9%	6.8%	13.2%	11.7%	25.3%	25.0%	10.3%	1.5%	100.0%
B/A	回答率	22.4%	22.2%	28.3%	35.6%	45.2%	57.1%	58.6%	41.1%	—	44.0%

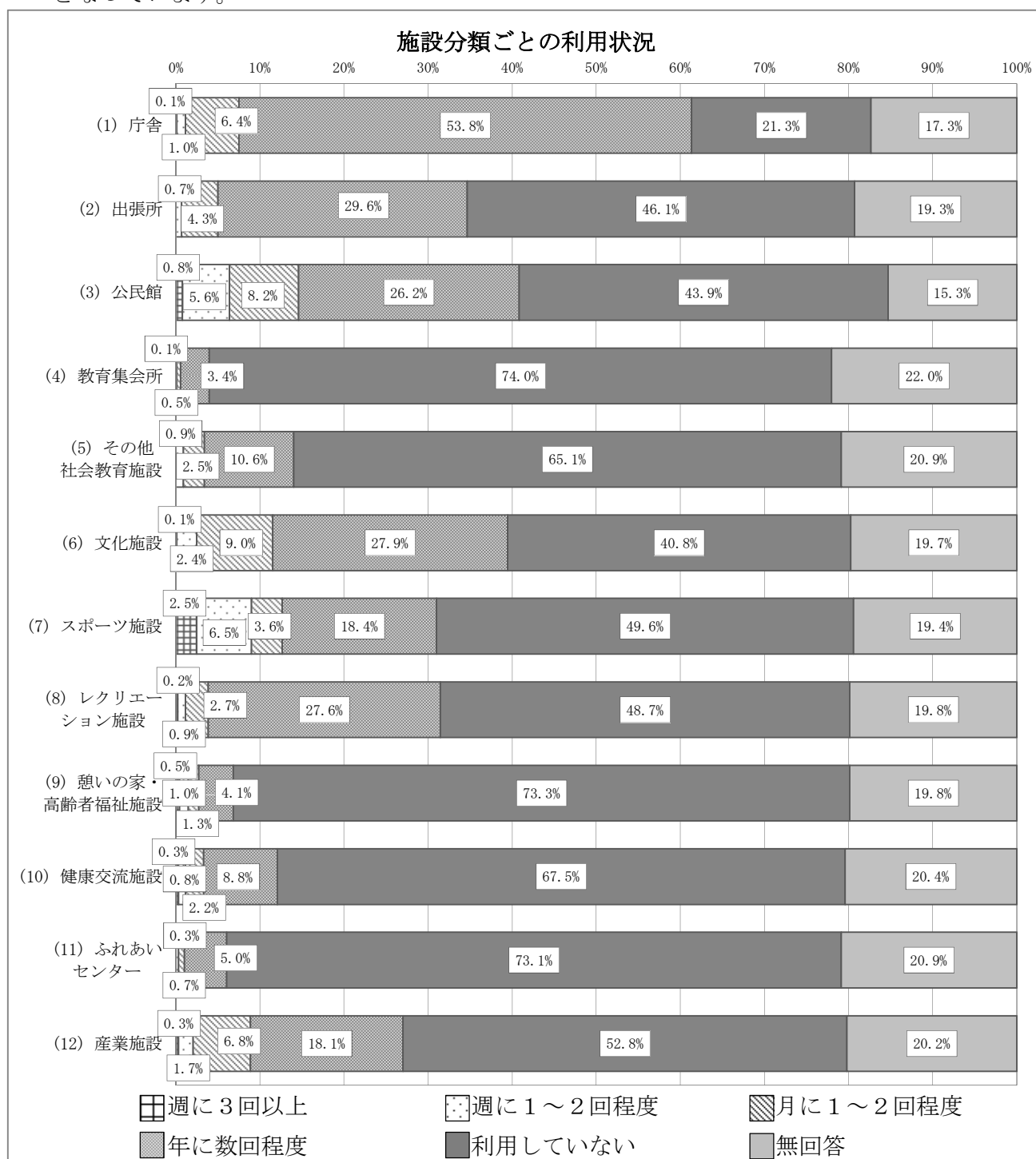
居住地区

		東部地域	西部地域	南部地域	北部地域	無回答	合計
A	配布数	252	740	670	329	—	1,991
	配布割合	12.7%	37.2%	33.7%	16.5%	—	100.0%
B	回答数	119	311	319	115	13	877
	回答割合	13.6%	35.5%	36.4%	13.1%	1.5%	100.0%
B/A	回答率	47.2%	42.0%	47.6%	35.0%	—	44.0%

2 あなたの光市の公共施設の利用状況について

(1) 施設分類ごとの利用状況（問4）

公共施設の利用状況（年に数回程度以上）は、「(1) 庁舎 (61.3%)」、「(3) 公民館 (40.8%)」、「(6) 文化施設 (39.4%)」の回答割合が高くなっていますが、庁舎以外の施設分類では50%以下となっています。「利用していない」を選んだ回答者の割合が高かった施設は、「(4) 教育集会所 (74.0%)」、「(9) 憩いの家・高齢者福祉施設 (73.3%)」、「(11) ふれあいセンター (73.1%)」となっています。

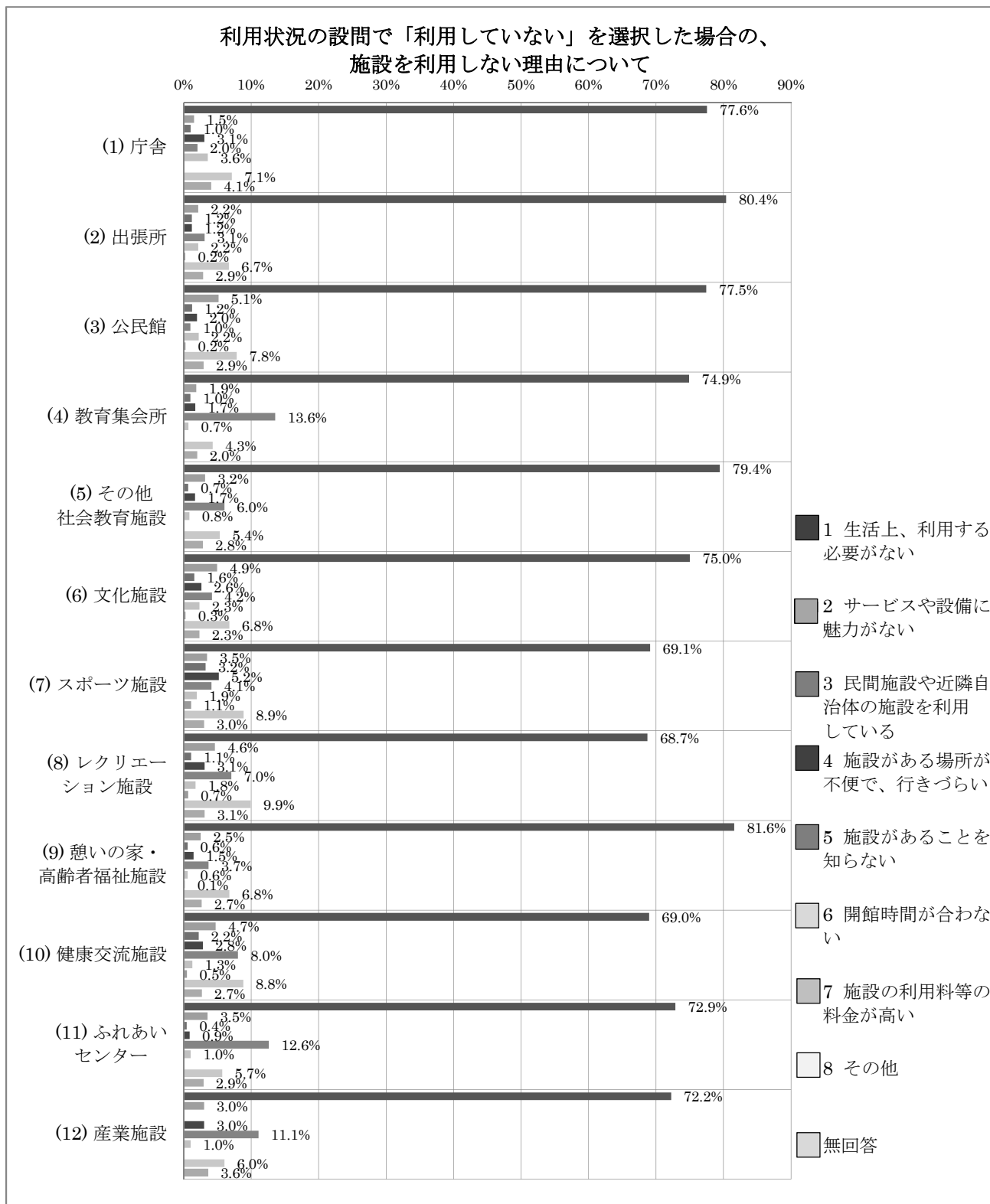


※総回答者 877 人に対する割合を示しています。

	週に3回以上	週に1～2回程度	月に1～2回程度	年に数回程度	利用していない	無回答	合計
(1) 庁舎	1 0.1%	9 1.0%	56 6.4%	472 53.8%	187 21.3%	152 17.3%	877 100.0%
(2) 出張所	0 0.0%	6 0.7%	38 4.3%	260 29.6%	404 46.1%	169 19.3%	877 100.0%
(3) 公民館	7 0.8%	49 5.6%	72 8.2%	230 26.2%	385 43.9%	134 15.3%	877 100.0%
(4) 教育集会所	0 0.0%	1 0.1%	4 0.5%	30 3.4%	649 74.0%	193 22.0%	877 100.0%
(5) その他社会教育施設	0 0.0%	8 0.9%	22 2.5%	93 10.6%	571 65.1%	183 20.9%	877 100.0%
(6) 文化施設	1 0.1%	21 2.4%	79 9.0%	245 27.9%	358 40.8%	173 19.7%	877 100.0%
(7) スポーツ施設	22 2.5%	57 6.5%	32 3.6%	161 18.4%	435 49.6%	170 19.4%	877 100.0%
(8) レクリエーション施設	2 0.2%	8 0.9%	24 2.7%	242 27.6%	427 48.7%	174 19.8%	877 100.0%
(9) 憩いの家・高齢者福祉施設	4 0.5%	9 1.0%	11 1.3%	36 4.1%	643 73.3%	174 19.8%	877 100.0%
(10) 健康交流施設	3 0.3%	7 0.8%	19 2.2%	77 8.8%	592 67.5%	179 20.4%	877 100.0%
(11) ふれあいセンター	0 0.0%	3 0.3%	6 0.7%	44 5.0%	641 73.1%	183 20.9%	877 100.0%
(12) 産業施設	3 0.3%	15 1.7%	60 6.8%	159 18.1%	463 52.8%	177 20.2%	877 100.0%
合計	43 0.4%	193 1.8%	423 4.0%	2,049 19.5%	5,755 54.7%	2,061 19.6%	10,524 100.0%

(2) 利用状況の設問で「利用していない」を選択した場合の、施設を利用しない理由について（最大3つまで○）（問4）

施設を利用していない理由については、「1 生活上、利用する必要がない」を選んだ回答者の割合が全ての施設分類で最も高く、それ以外の理由と比べて著しく高い割合となっています。



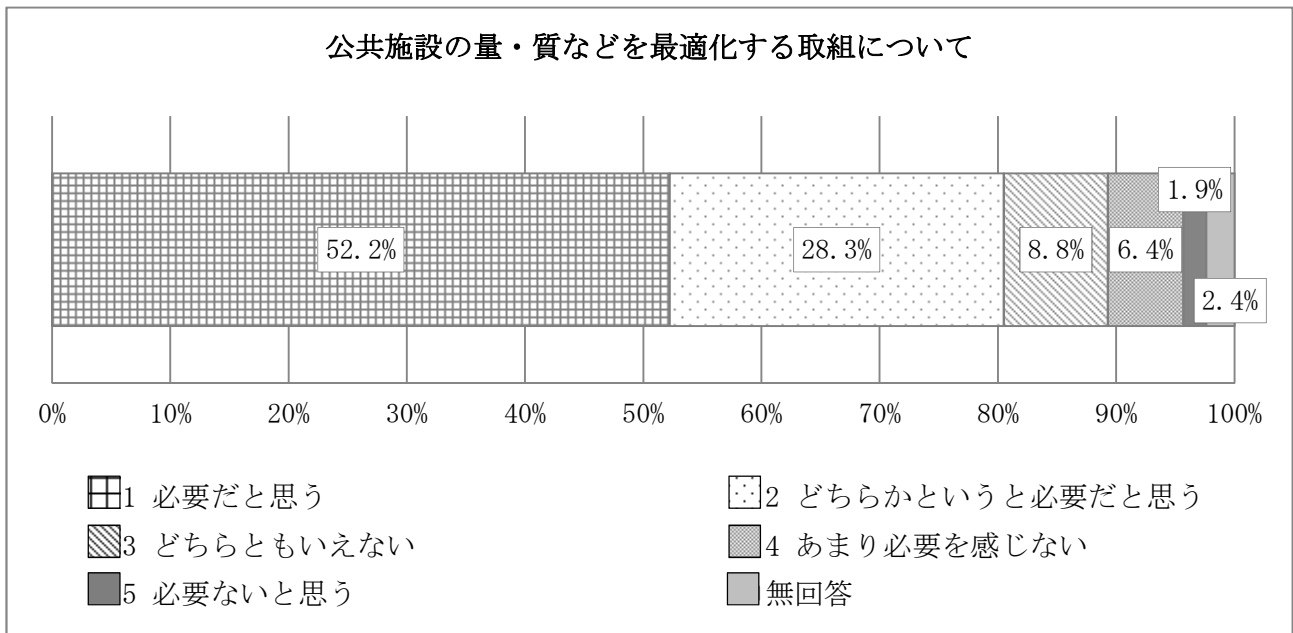
※各施設分類で「利用していない」と回答した者の複数回答に対する割合を示しています。

	1 生活上、 利用する必要 がない	2 サービス や設備に魅 力がない	3 民間施設 や近隣自治 体の施設を 利用してい る	4 施設があ る場所が不 便で、行き づらい	5 施設があ ることを知 らない	6 開館時間 が合わない	7 施設の利 用料等の料 金が高い	8 その他	無回答
(1) 庁舎	152 77.6%	3 1.5%	2 1.0%	6 3.1%	4 2.0%	7 3.6%	0 0.0%	14 7.1%	8 4.1%
(2) 出張所	336 80.4%	9 2.2%	5 1.2%	5 1.2%	13 3.1%	9 2.2%	1 0.2%	28 6.7%	12 2.9%
(3) 公民館	316 77.5%	21 5.1%	5 1.2%	8 2.0%	4 1.0%	9 2.2%	1 0.2%	32 6.7%	12 2.9%
(4) 教育集会所	525 74.9%	13 1.9%	7 1.0%	12 1.7%	95 13.6%	5 0.7%	0 0.0%	30 4.3%	14 2.0%
(5) その他社会 教育施設	475 79.4%	19 3.2%	4 0.7%	10 1.7%	36 6.0%	5 0.8%	0 0.0%	32 5.4%	17 2.8%
(6) 文化施設	288 75.0%	19 4.9%	6 1.6%	10 2.6%	16 4.2%	9 2.3%	1 0.3%	26 6.8%	9 2.3%
(7) スポーツ 施設	320 69.1%	16 3.5%	15 3.2%	24 5.2%	19 4.1%	9 1.9%	5 1.1%	41 8.9%	14 3.0%
(8) レクリエー ション施設	312 68.7%	21 4.6%	5 1.1%	14 3.1%	32 7.0%	8 1.8%	3 0.7%	45 9.9%	14 3.1%
(9) 憩いの家・ 高齢者福祉施設	554 81.6%	17 2.5%	4 0.6%	10 1.5%	25 3.7%	4 0.6%	1 0.1%	46 6.8%	18 2.7%
(10) 健康交流 施設	438 69.0%	30 4.7%	14 2.2%	18 2.8%	51 8.0%	8 1.3%	3 0.5%	56 8.8%	17 2.7%
(11) ふれあい センター	497 72.9%	24 3.5%	3 0.4%	6 0.9%	86 12.6%	7 1.0%	0 0.0%	39 5.7%	20 2.9%
(12) 産業施設	359 72.2%	15 3.0%	0 0.0%	15 3.0%	55 11.1%	5 1.0%	0 0.0%	30 6.0%	18 3.6%
合 計	4,572 74.8%	207 3.4%	70 1.1%	138 2.3%	436 7.1%	85 1.4%	15 0.2%	419 6.9%	173 2.8%

3 今後の公共施設のあり方について

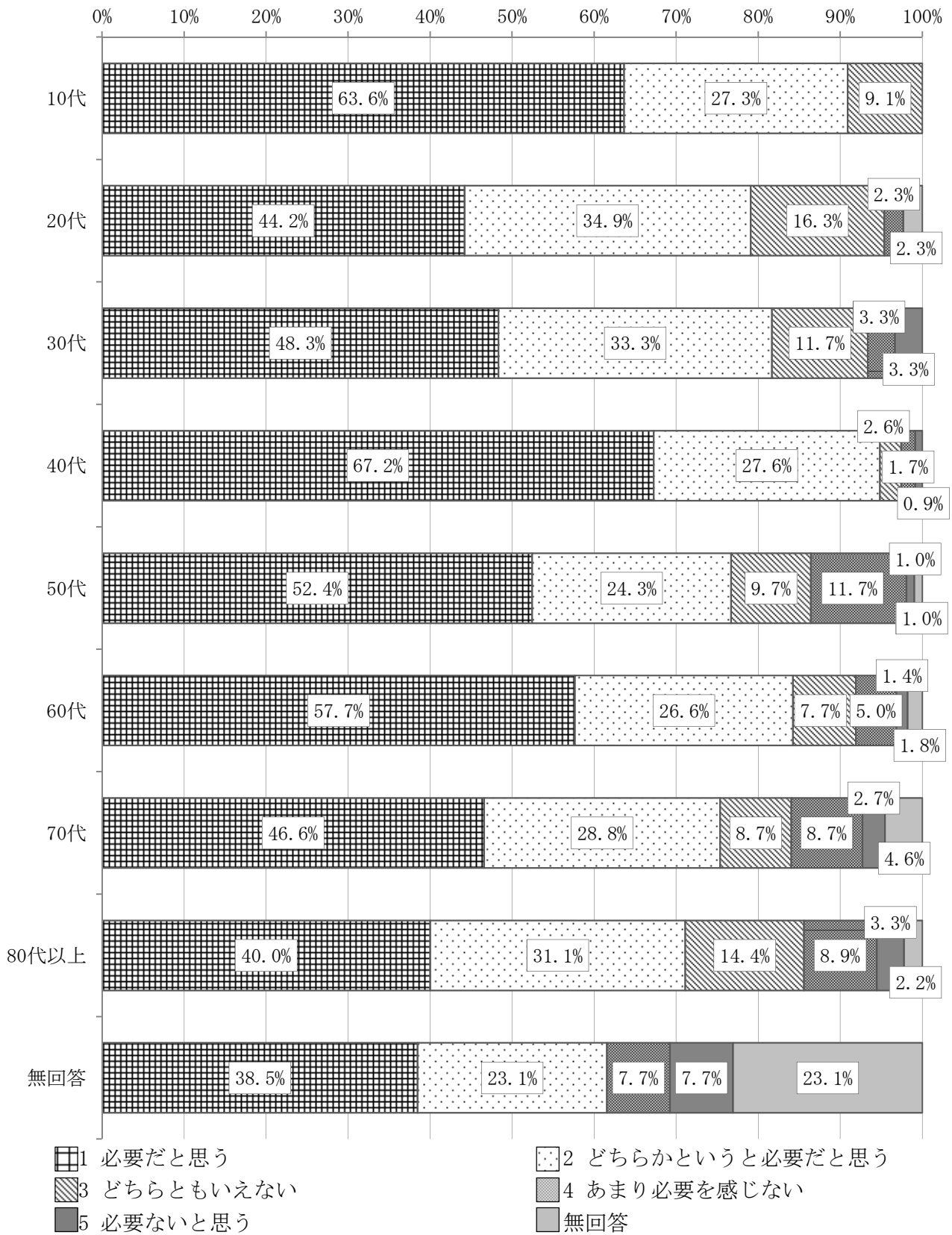
(1) 公共施設の量・質などを最適化する取組みを進めることについて（問5）

公共施設の量・質などを最適化する取組みについて、「1 必要だと思う（52.2%）」、「2 どちらかという必要だと思う（28.3%）」を選んだ回答者の割合が80.5%となり「5 必要ないと思う（1.9%）」、「4 あまり必要を感じない（6.4%）」を選んだ回答者の割合は8.3%となっています。年代別に見ると、「1 必要だと思う」「2 どちらかという必要だと思う」を選んだ回答者の割合が、すべての年代で70%を超えています。特に40代（94.8%）と10代（90.9%）で高くなっています。



※総回答者 877 人に対する割合を示しています。

公共施設の量・質などを最適化する取組を進めることについて（年代別）



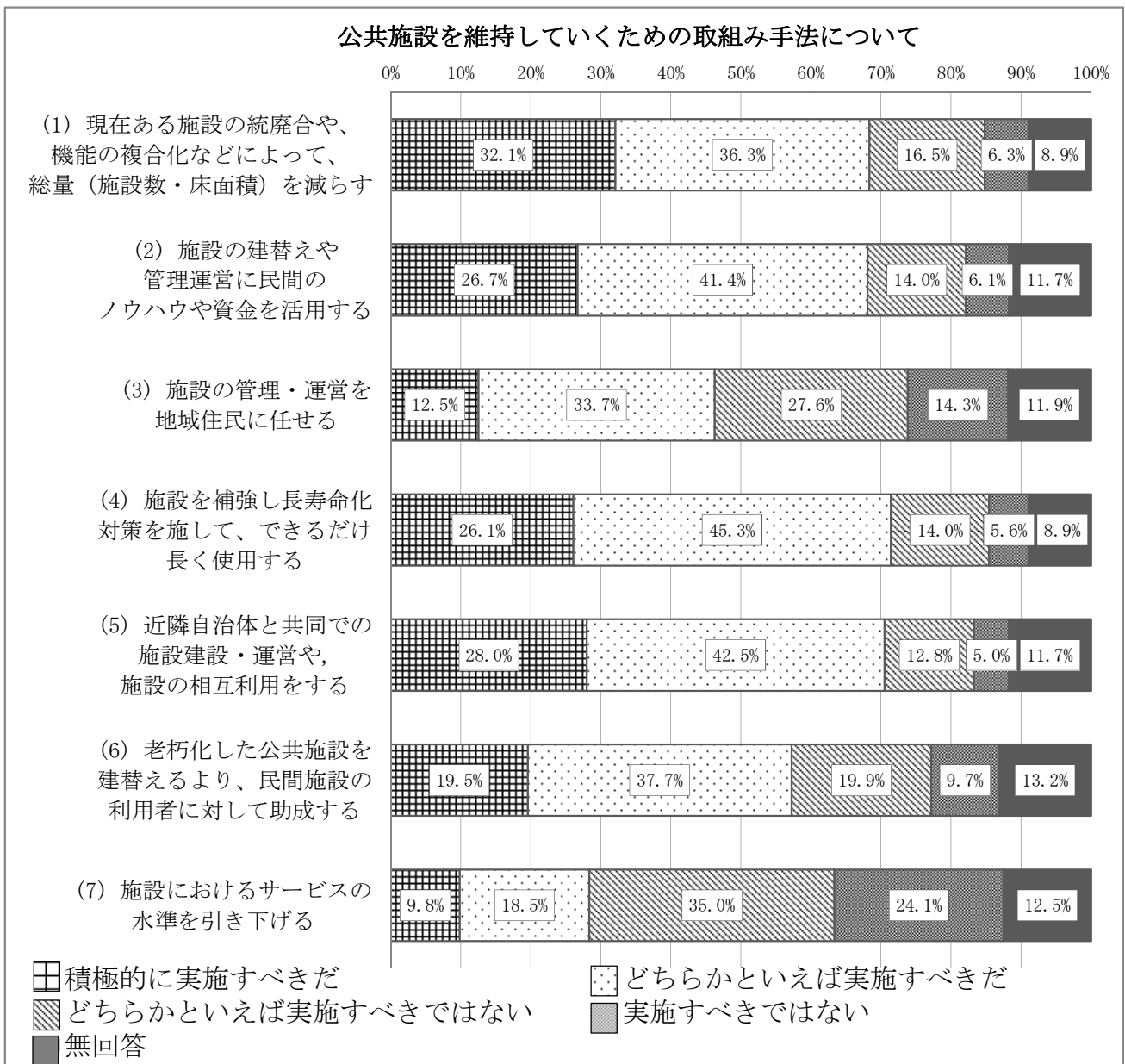
※総回答者 877 人に対する割合を示しています。

		1 必要だと思う	2 どちらかという と必要だと思う	3 どちらともい えない	4 あまり必要を 感じない	5 必要ないと思 う	無回答	合計
合計		458 52.2%	248 28.3%	77 8.8%	56 6.4%	17 1.9%	21 2.4%	877 100.0%
年 齢 別	10代	7 63.6%	3 27.3%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%
	20代	19 44.2%	15 34.9%	7 16.3%	1 2.3%	0 0.0%	1 2.3%	43 100.0%
	30代	29 48.3%	20 33.3%	7 11.7%	2 3.3%	2 3.3%	0 0.0%	60 100.0%
	40代	78 67.2%	32 27.6%	3 2.6%	2 1.7%	1 0.9%	0 0.0%	116 100.0%
	50代	54 52.4%	25 24.3%	10 9.7%	12 11.7%	1 1.0%	1 1.0%	103 100.0%
	60代	128 57.7%	59 26.6%	17 7.7%	11 5.0%	3 1.4%	4 1.8%	222 100.0%
	70代	102 46.6%	63 28.8%	19 8.7%	19 8.7%	6 2.7%	10 4.6%	219 100.0%
	80代以上	36 40.0%	28 31.1%	13 14.4%	8 8.9%	3 3.3%	2 2.2%	90 100.0%
	無回答	5 38.5%	3 23.1%	0 0.0%	1 7.7%	1 7.7%	3 23.1%	13 100.0%
性 別	男性	197 53.4%	101 27.4%	32 8.7%	23 6.2%	7 1.9%	9 2.4%	369 100.0%
	女性	253 51.8%	141 28.9%	44 9.0%	32 6.6%	9 1.8%	9 1.8%	488 100.0%
	無回答	8 40.0%	6 30.0%	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%	3 15.0%	20 100.0%

(2) 公共施設を維持していくための取組み手法について (問6)

【※問5で「1 必要だと思う」「2 どちらかというとな必要だと思う」「3 どちらともいえない」を選んだ人のみ回答】

公共施設を維持していくための取組み手法について、「積極的に実施すべきだ」、「どちらかといえば実施すべきだ」を選んだ回答者の割合は、「(4) 施設を補強し長寿命化対策を施して、できるだけ長く使用する (71.4%)」、「(5) 近隣自治体と共同での施設建設・運営や施設の相互利用をする (70.5%)」、「(1) 現在ある施設の統廃合や機能の複合化などによって総量 (施設数・床面積) を減らす (68.4%)」、「(2) 施設の建替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する (68.1%)」、「(6) 老朽化した公共施設を建替えるより民間施設の利用者に対して助成する (57.2%)」で50%を超えています。



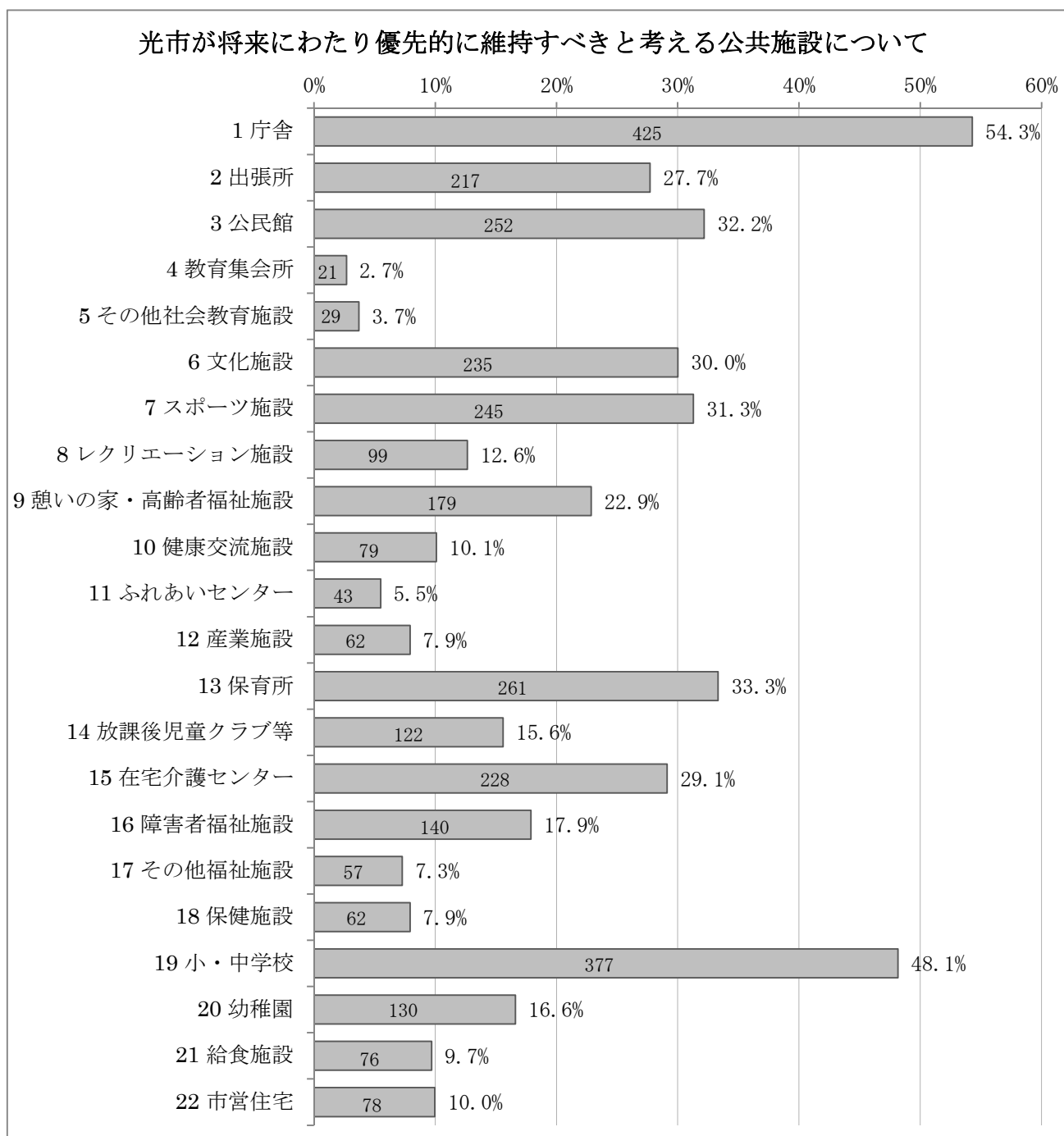
※問5で「1 必要だと思う」、「2 どちらかというとな必要だと思う」、「3 どちらともいえない」と回答した783人に対する割合を示しています。

	積極的に実施すべきだ	どちらかといえば実施すべきだ	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	無回答	合計
(1) 現在ある施設の統廃合や機能の複合化などによって総量（施設数・床面積）を減らす	251 32.1%	284 36.3%	129 16.5%	49 6.3%	70 8.9%	783 100.0%
(2) 施設の建替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	209 26.7%	324 41.4%	110 14.0%	48 6.1%	92 11.7%	783 100.0%
(3) 施設の管理・運営を地域住民に任せる	98 12.5%	264 33.7%	216 27.6%	112 14.3%	93 11.9%	783 100.0%
(4) 施設を補強し長寿命化対策を施して、できるだけ長く使用する	204 26.1%	355 45.3%	110 14.0%	44 5.6%	70 8.9%	783 100.0%
(5) 近隣自治体と共同での施設建設・運営や施設の相互利用をする	219 28.0%	333 42.5%	100 12.8%	39 5.0%	92 11.7%	783 100.0%
(6) 老朽化した公共施設を建替えるより、民間施設の利用者に対して助成する	153 19.5%	295 37.7%	156 19.9%	76 9.7%	103 13.2%	783 100.0%
(7) 施設におけるサービスの水準を引き下げる	77 9.8%	145 18.5%	274 35.0%	189 24.1%	98 12.5%	783 100.0%

(3) 光市が将来にわたり優先的に維持すべきと考える公共施設について(最大5つまで○)(問7)

【※問5で「1 必要だと思う」「2 どちらかという必要だと思う」「3 どちらともいえない」を選んだ人のみ回答】

光市が将来にわたり優先的に維持すべきと考える公共施設については、「1 庁舎 (54.3%)」、「19 小・中学校 (48.1%)」、「13 保育所 (33.3%)」の順で回答割合が高くなっています。回答割合が低い施設分類は、「4 教育集会所 (2.7%)」、「5 その他社会教育施設 (3.7%)」、「11 ふれあいセンター (5.5%)」の順となっています。

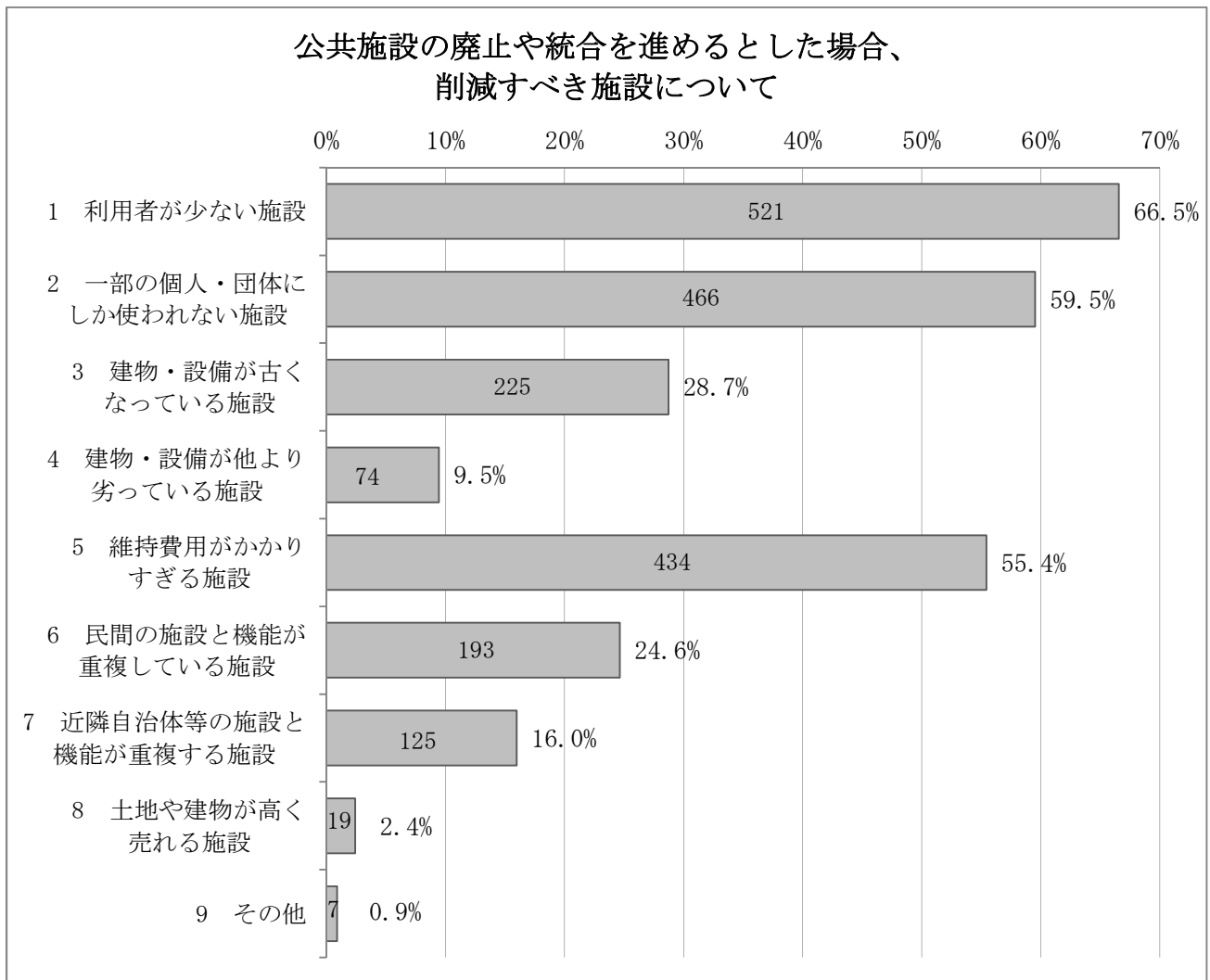


※問5で「1 必要だと思う」、「2 どちらかという必要だと思う」、「3 どちらともいえない」と回答した783人の複数回答に対する割合を示しています。

(4) 公共施設の廃止や統合を進めるとした場合、削減すべき施設について（最大3つまで○）
 (問8)

【※問5で「1 必要だと思う」「2 どちらかというとな必要だと思う」「3 どちらともいえない」を選んだ人のみ回答】

公共施設の廃止や統合を進めるとした場合、削減すべき施設については、「1 利用者が少ない施設（66.5%）」、「2 一部の個人・団体にしか使われない施設（59.5%）」、「5 維持費用がかかりすぎる施設（55.4%）」を選んだ回答者の割合が高くなっています。

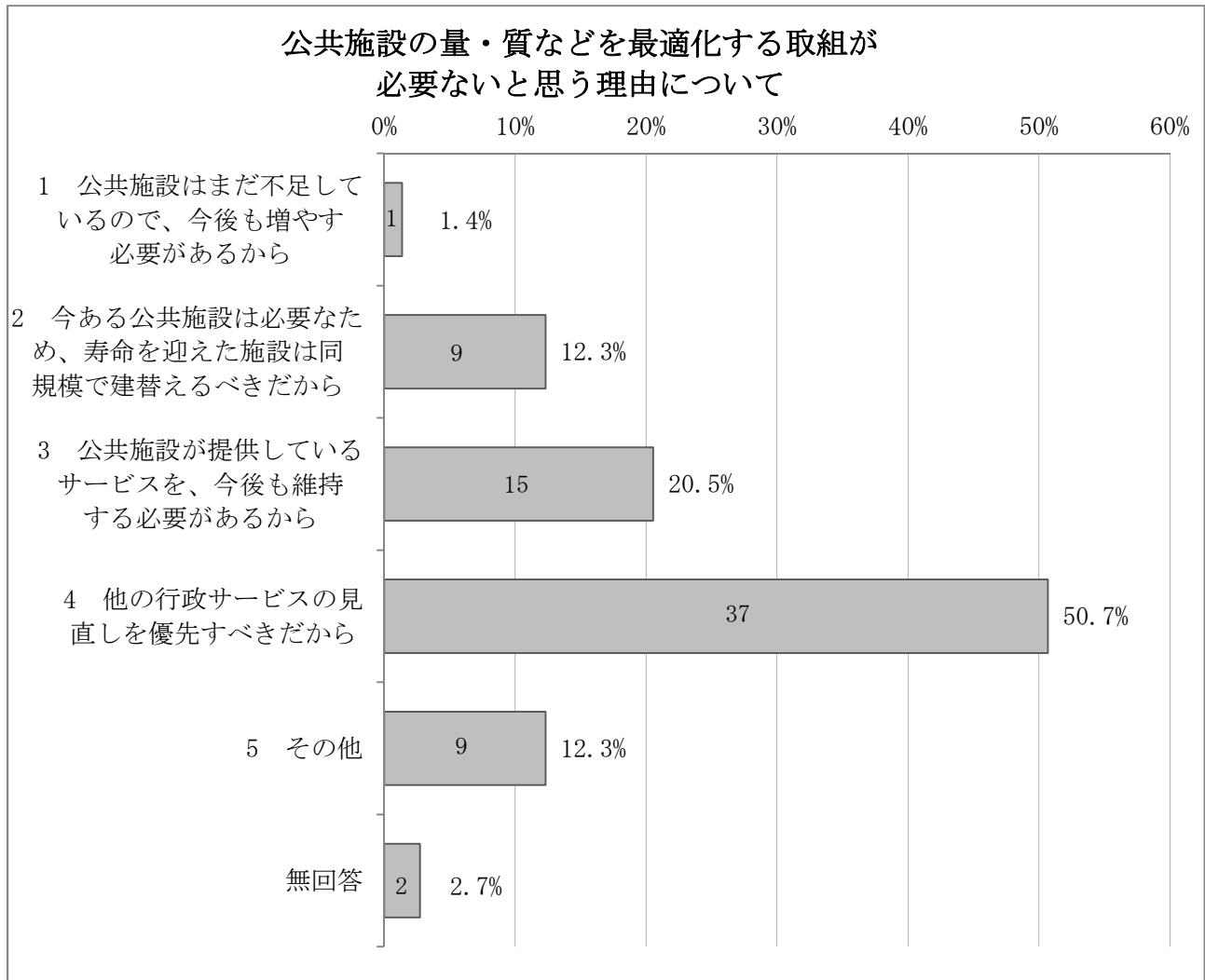


※問5で「1 必要だと思う」、「2 どちらかというとな必要だと思う」、「3 どちらともいえない」と回答した783人の複数回答に対する割合を示しています。

(5) 公共施設の量・質などを最適化する取組が必要ないと思う理由について（問9）

【※問5で「4 あまり必要を感じない」「5 必要ないと思う」を選んだ人のみ回答】

公共施設の量・質などを最適化する取組が必要ないと思う理由については、「4 他の行政サービスの見直しを優先すべきだから（50.7%）」を選んだ回答者の割合が最も高く、次に「3 公共施設が提供しているサービスを、今後も維持する必要があるから（20.5%）」を選んだ回答者の割合が高くなっています。

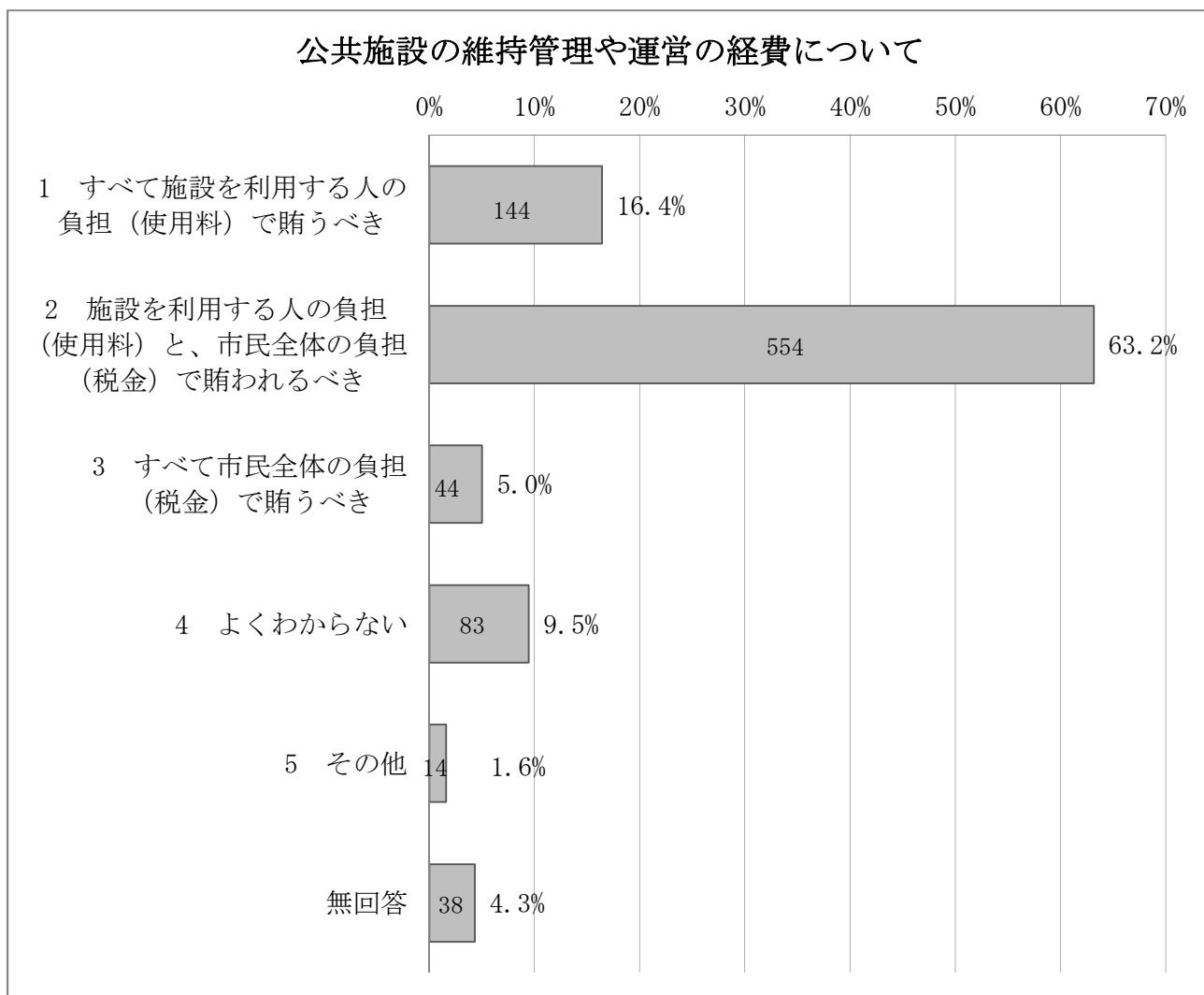


※問5で「4 あまり必要を感じない」「5 必要ないと思う」と回答した73人に対する割合を示しています。

4 公共施設使用料のあり方について

(1) 公共施設の維持管理や運営の経費について (問 10)

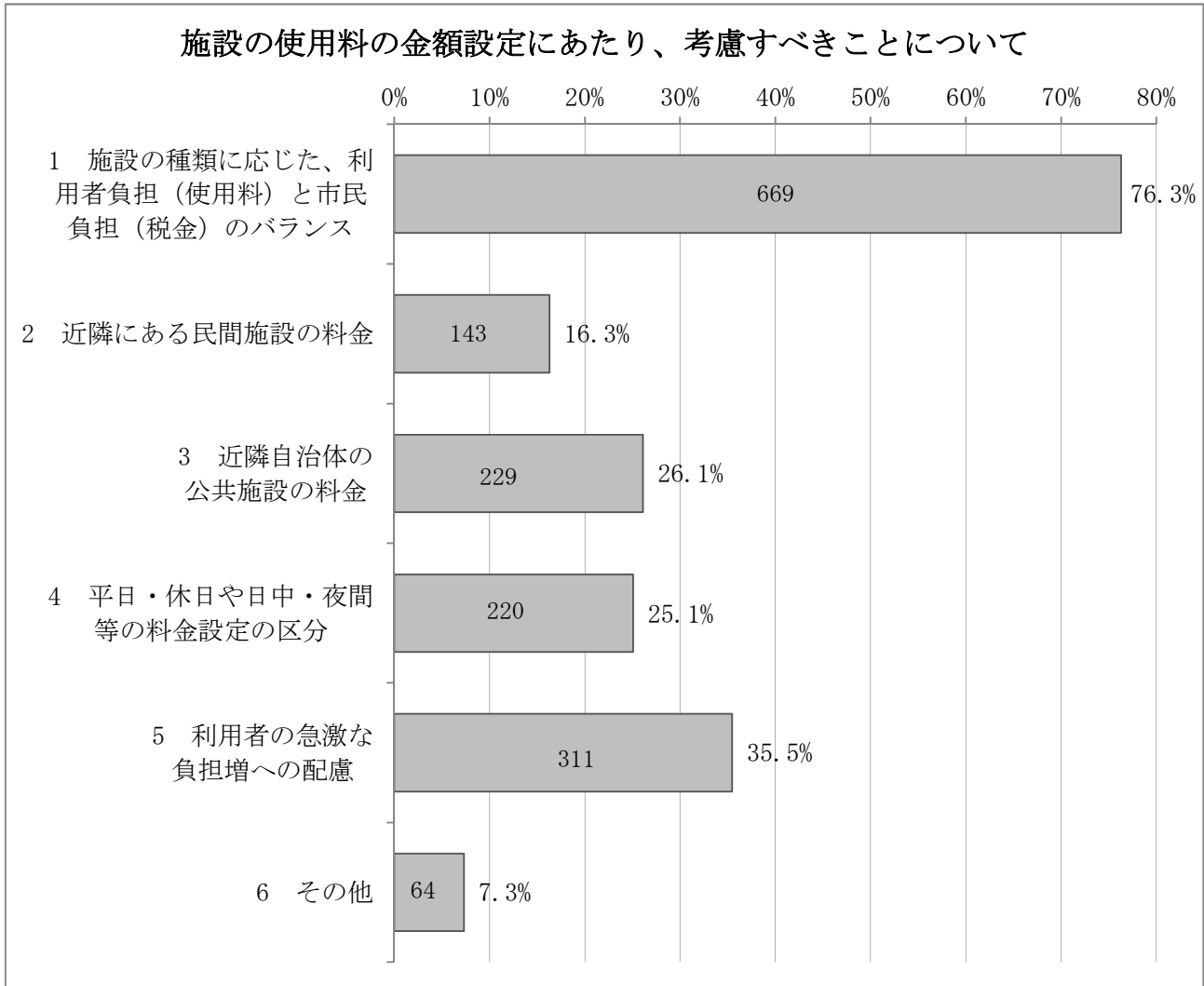
公共施設の維持管理や運営の経費については、「2 施設を利用する人の負担（使用料）と、市民全体の負担（税金）で賄われるべき（63.2%）」を選んだ回答者の割合が最も高く、次に「1 すべて施設を利用する人の負担（使用料）で賄うべき（16.4%）」を選んだ回答者の割合が高くなっています。



※総回答者 877 人に対する割合を示しています。

(2) 施設の使用料の金額設定にあたり、考慮すべきことについて (最大3つまで○) (問 11)

施設の使用料の金額設定にあたり、考慮すべきことについては、「1 施設の種類に応じた、利用者負担 (使用料) と市民負担 (税金) のバランス (76.3%)」を選んだ回答者の割合が最も高く、次に「5 利用者の急激な負担増への配慮 (35.5%)」を選んだ回答者の割合が高くなっています。



※総回答者 877 人の複数回答に対する割合を示しています。

5 光市の公共施設の現状や将来のあり方についての意見（問 12）

光市の公共施設の現状や将来のあり方について、293 人の方から延べ 408 件のご意見・ご提言を頂きました。

意見・提言の内容は次のとおりです。

分野	件数	割合
施設の統廃合や維持等（全体）	112	27.5%
施設の統廃合や維持等（個別施設等）	112	27.5%
施設の運営等（全体）	44	10.8%
施設の運営等（個別施設等）	34	8.3%
施設の使用料負担等	27	6.6%
その他	79	19.4%
合計	408	100.0%

【施設の統廃合や維持等（全体）に関する主な意見】

- ・人口減少を見据えた公共施設の適正配置と整備更新が必要だ
- ・未来の子供達が光り輝けるよう、将来に向けて公共施設の最適化はとても必要だ
- ・より多くの人が活用する施設の充実を、優先的にして欲しい
- ・機能的に重複しているものや、地域によっての差が多い点を改善すべきだ
- ・施設の統廃合により、高齢者と若者・子供が共に共生できる施設を考えて欲しい
- ・老朽化対策が必要な施設が多くあるが、多目的施設として整理統合を進めて欲しい
- ・高機能、多機能、また、防災に役する建物を複合施設（集約化）にする
- ・旧光、大和の施設の統合を積極的に行い、市民の負担を減らすべきだ
- ・人口が減少している地域への配慮と云うべき公共施設の維持・更新は控えるべきだ
- ・光市は箱物が多すぎる。メインとなる施設に集約して、随時減少するべきだ
- ・同じ機能の施設が多すぎる
- ・市の財政を見直して、必要な施設は残してほしい
- ・ハコモノは建設時だけでなく、50 年先まで睨んだライフサイクルコストでの費用対効果で、造るべきかどうか判断するべきだ
- ・箱もの行政を行ってきたつけがまわってきた結果であり、それを止めようとしなかった市民の責任でもある。それぞれの責任を明確に示し、市民が負担を負うのは、しかたないと思う
- ・既存施設の維持管理の見直しが必要だ（事後保全から予防保全へ）
- ・これ以上の建物は必要ない。まずは借金を少しでも減らして市民に対しての負担を減らすことが必要
- ・基本的に新規施設を作らない
- ・利用者の少ない施設は維持費等がもったいないので処分するべきだ
- ・必要なサービスに手をかけて、華美なものや維持費がかかりすぎる設備はやめるべきだ
- ・利用者減少の場合、公共施設は廃止すべきだ。利用者の負担増加は避けてほしい

- ・利用頻度の少ない施設等は減らして、それに伴い職員も減らすべきだ
- ・市民に希望と安心をもたらす事を常に考慮して推進して欲しい
- ・数年に一度は見直しをすべきだと思う
- ・一部の人達が健康や趣味で使用している施設は減らして、子供達のために学校の建物や中身を充実すべきだ
- ・高齢者が気軽に集まれる場所があると良い
- ・光市に住みたいという、特色が出せるような施設を充実すべきだ
- ・国内外の自治体が先進して取り組み、うまく機能している施設を参考にしてはどうか
- ・年をとっても行きやすい今の現状であって欲しい
- ・利用者の拡大を図ることなしに縮小はおかしい。本来利用目的で作られたのに利用者が少ないことの理由を整理すべきだ
- ・虹ヶ浜、室積海岸周辺に、観光客を呼べるような施設が必要だ
- ・子供のためのアミューズメントパーク、遊ぶ施設や若者が楽しめる場所があればよい
- ・まず、人口定住増加の見込める街にすることが、公共施設を考える上でも重要だ
- ・若い人が住みたくなるような、魅力のある施設があるとよい
- ・公共施設で民間に委託できる所はどんどん民間に委託という方向で進んでほしい
- ・施設を統合した方がよい。そのための交通機関の整備が必要だ
- ・高齢化に伴い、施設を減らすと、施設までの距離が遠くなる人がおり、一部の人しか利用できなくなる可能性がある
- ・公共交通で公共施設に行ける様にしないと、交通弱者は利用する事ができなくなる
- ・半径1km程度の地域に病院・学校・公共施設等を集中させて、車を運転出来ない高齢者には、その地域に移住を進める。コンパクトな街作りを進めて欲しい
- ・豪雨等々の災害の折の避難場所を造る事を市として一番考えて欲しい
- ・災害時の安全性を考えて、どれだけ対応できるかを具体的に示して欲しい
- ・大雨や地震などで利用することがあるかもしれない避難所の安全確保を期待したい
- ・公共施設は絶対必要だ

【施設の統廃合や維持等（個別施設等）に関する主な意見】

- ・文化施設、教育施設を統合し、コスト・人件費等を見直すべきだ
- ・青少年施設、老人施設と専用化するのではなく、共用できる施設にして欲しい
- ・「里の厨」のような地元の野菜やくだもの魚などを買える場所が、市内の中心地にあればよい
- ・避地地区の公民館・保健施設等は配慮して欲しい
- ・新しい光市の発展していく象徴として、まずは、本庁舎を機能的にしていくことを望みます。無駄な吹き抜けや、中庭は不要です
- ・市民ホールや、総合体育館など光市のメインとなる公共施設を充実させるべきだ
- ・老朽化した、本庁舎の建て替えをした方がよいと思う
- ・市役所本庁舎とあいば一く光を統合するべきだ。分散化された庁舎は利用者にとって不便である
- ・最近子供達の元気に外で遊ぶ姿や声も聴かない様に思われます。近くに誰もが見守られる広場が

あればよいと思う

- ・もう少し公園など子どもが安全に遊べる場がほしい
- ・雨が降ると子どもを連れて遊べる場所ないので、気軽に遊べる公共施設があればよい
- ・高齢者施設ばかりに税金を使っている印象があります。児童施設や公園にももう少し税金を回して欲しい
- ・スポーツ施設は、グラウンドは現状維持で、建物（館）については統廃合する方向で考える
- ・高齢化が進み、スポーツ施設の利用が減少して、福祉施設、産業施設、公民館の必要性が増すのではないか
- ・市立の体育館、スポーツ公園は、現在岩田と光井といずれも2ヶ所ある。高齢化が進む事から1ヶ所で十分ではないか
- ・スポーツ公園のテニスコート近くのトイレを改善して欲しい
- ・スポーツ公園や冠梅園などの、駐車場が狭い
- ・スポーツ施設の駐車場の駐車枠を増やし、他地区からも多く集えるようにするべきだ
- ・ゆっくり泳げるような広くて、きれいなプール施設があればよい
- ・さつき幼稚園が放置されたままのようだが、保育園が出来れば一番良いが、それが難しいようであれば何か地域起こしの場になって欲しい
- ・つるみ幼稚園、やよい幼稚園は、園児の人数が少なすぎる。今の現状を見直す必要があるのではないか
- ・公立の幼稚園の存続は検討すべきと思う
- ・駅周辺の商業施設と、市役所、消防署、光高、聖光高校を中心とした文共、公共施設が離れていることが問題だ
- ・JR駅近辺への集中が必要だ
- ・小中学校の空教室の有効利用をすべきだ
- ・小学校・公民館を統合してはどうか
- ・子供のために、多勢の中で育てることができるよう、大和地区にある小学校を1つに統合するべきだ
- ・小中学校内に公民館や出張所を移し、空き教室の利用なども考えるべきだ
- ・浅江小学校はあちこちでコンクリート片が落下する状態で、早急に補修して欲しい
- ・公民館に多くの勉強スペースや自動販売機や空調設備などを整えたら、多くの若者が使用するのではないか
- ・室積に出来る公民館に、あいぱーくのように子供も遊べるスペースがあればよい
- ・光市はアパートが多く空室が多いので、市営住宅の減少を図る
- ・図書館が少し暗いイメージなので、新しくなればもっと利用が増えるのではないか
- ・図書館を、環境や整備等充実した建物にして欲しい
- ・もっと図書館が明るい場所になればよい
- ・図書館や文化施設等は、もう少し充実してほしい。市民税が少し上っても光市の未来の子供達に、光市を素敵と思ってくれる市にして欲しい
- ・市役所の自動交付機はとても助かります

- ・公共のトイレが少ない
- ・冠山総合公園と、となり合わせ又は、向かいなどに道の駅等があればいいと思う
- ・光市は海に隣接した地域が多く、防災（特に津波等）対応／避難場所となる施設を整備して欲しい
- ・三島温泉健康交流施設は必要ない
- ・給食センターも病院も移転する必要性を感じない
- ・高齢者割合が高いので、市立病院などの医療施設を、移転を機会に充実させる
- ・公共の老人ホームを建ててほしい

【施設の運営等（全体）に関する主な意見】

- ・どこにどのような公共施設があるかよく知らないなので、もっと施設の場所、利用内容等をくわしく市民に伝えて欲しい
- ・どこで何ができるのか、行われているのかを、もっと若い世代に対して広く知らせることができれば、各施設の利用者や需要が増えるのではないか
- ・もっと公共施設を積極的にPRすべきだ
- ・一部の人だけの利用ではなく、広く市民が自由に利用できるPRが必要だと思う
- ・もっとPR活動を行い、使用人口を増やす活動をすべきだ
- ・公共サービスは市民全員が平等に機会を与えられるべきで、土日・祝日・夜間の対応の仕組み作りを考えて欲しい
- ・自治会等への負担は、増やさないで欲しい
- ・最近独身の男女が多いのでそれにふさわしいイベントを考えて、公共施設を出会いの場などに利用したらよいと思う
- ・はじめての施設でも気軽に見学できる雰囲気してほしい
- ・誰でも簡単に使用出来るようにしてほしい
- ・公共施設が提供しているサービス大変よくなった
- ・指定管理者制度を導入するべきだ（民間ノウハウによる運営、シルバー活用）
- ・地域の公共施設で特に環境に関するもの（清掃、草刈り）等は地域住民が行ったらよいのではないか
- ・公共ならずすべての人に平等、均等を原則にするべきだ
- ・各施設独特のサービスについて、民間よりアイデアを募集するべきだ
- ・無駄な施設が多いので、民間委託をどんどん進めるべきだと思う
- ・民間で出来ることは民間に任せて、市で行うべきことを重点的に行なっていくべきだ
- ・「民間に委託すれば黒字になる」という官尊民卑の考え方は止めるべきだ。市営では何故赤字になるのかもっと考えるべきだ

【施設の運営等（個別施設等）に関する主な意見】

- ・子育て中なので、あいぱーく（チャイベビや和室）をよく利用している。子供を育てる上で、チャイベビや保育園の園開放等はとても助かっている
- ・休日医療を充実して欲しい

- ・冠山総合公園特に梅園は注力して発展させるべきだ
- ・給食センターは昨年9月から新しいものになり、給食の内容も充実してきている。これからも献立の内容等、充実させていって欲しい
- ・大和総合運動公園は旧大和の時の方が綺麗だった様に思う。以前の方が外回りの管理が良かった様に感じる
- ・スポーツ施設の利用について、同じスポーツ団体ばかりが利用している
- ・公民館や、ふれあいセンターなど、一部特定のグループしか使用していない施設がある
- ・ゆーぱーく光は民間の施設にした方がよいのではないか
- ・ゆーぱーくで、囲碁や将棋などができるようになればよい
- ・ゆーぱーくや、里の厨の様な運営の仕方が良いと思う。サービスの内容が良ければ利用料を支払っても利用する人は増えると思う
- ・公民館毎に館長等が必要なのか疑問だ。人員削減につなげるべきではないか
- ・図書館の本の貸し出しを機械で行えるようにして欲しい
- ・図書館の閉館時間をもう少し延ばしてほしい
- ・大和にはあまり世間に知られていない伊藤博文の家や岩城山があり、宣伝をして全国から観光客を集客してはどうか
- ・窓口業務はアウトソーシングするなど、本庁舎・支所などを民営化の方向で考えるべきだ

【施設の使用料負担等に関する主な意見】

- ・生活に欠かせない施設は負担を上げず、健康な方が趣味で使用する施設は民間料金に近づけるべきだ
- ・将来維持すべき施設の優先順位を決めるとともに、利用者の負担を増やすことも必要だ
- ・外から来た人がお金を落とせる様に使用料、入園料をとるべきだ
- ・一部の人しか利用しない施設に税金を使用しないで欲しい。但し高齢者など経済的に苦しい人は例外にしたらどうか
- ・公民館活動の消耗品・備品に充てるくらいの使用料は徴収した方がよい
- ・憩いの家などいつもメンバーが限られている。使用料の徴収も考えるべきだ
- ・冠山公園を維持していくためには、有料化するとよいのではないか
- ・市民全体の税金で公共施設の維持管理をすることは、全く利用しない人達も多くいるので、利用者負担が当然である
- ・何かにつけて行政に頼る市民感覚を是正すべきだ。公共施設は単に利用するものだけでなく普段から市民自らメンテナンスするべきだ
- ・子どもや子育て中の家庭の負担は少なく、それ以外の利用者は自己負担を多くして、バランスをとりながら運営していく必要があるのではないか

光市の公共施設に関するアンケート

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

光市では、全国の多くの自治体と同様に、昭和40年代から50年代にかけて、人口増加や高度経済成長期を背景とした当時の行政需要に応じて、多くの公共施設を整備しており、これらの施設の老朽化が進み、これから更新時期を集中して迎えることとなります。

その一方で、光市の総人口は、今後も減少していくことが予測されており、年齢構成比では、年少人口及び生産年齢人口の比率が減少していきなめで、老年人口の比率はしばらく上昇が続く見込みです。

こうした状況のなか、子どもや孫といった次の世代の人口規模・人口構成などを見据えた長期的な視点で、これからの公共施設に求められる機能やサービスを考え、真に必要な公共施設の量・質を検討する必要があります。

このアンケートは、そうした今後の公共施設のあり方を検討するにあたり、その基礎資料とするため、皆様のご意見やお考えをおたずねするものです。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成27年10月

光市

ご回答にあたってのお願い

- 封筒の宛名の方が答えられない場合は、ご家族の方がお答えください。
- 本調査は無記名ですのでお名前を記入される必要はありません。
- ご回答は設問ごとの指示に従い、鉛筆またはボールペンで直接アンケート調査票の番号に○（マル）印をつけてください。
- ご回答の内容は、すべて統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。
- ご回答されましたら、同封しました返信用の封筒に入れ、切手を貼らずに11月6日(金)までにご投函ください。封筒に住所、氏名の記入は不要です。
- ご不明な点がございましたら、7ページの〈問合せ・連絡先〉にお問い合わせください。

■あなたご自身のことについてお聞かせください。

問1 あなたの性別はどちらですか。(1つだけに○)

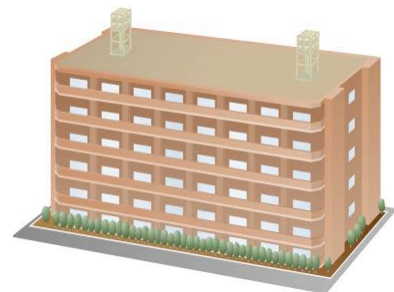
- 1 男性
- 2 女性

問2 あなたの年齢は次のうちどれですか。(1つだけに○)

- 1 10歳代
- 2 20歳代
- 3 30歳代
- 4 40歳代
- 5 50歳代
- 6 60歳代
- 7 70歳代
- 8 80歳以上

問3 あなたのお住まいの地域はどこですか。(1つだけに○)

- 1 東部地域(岩田・岩田立野・三輪・東荷・塩田)
- 2 西部地域(浅江・島田・中島田)
- 3 南部地域(室積・光井・牛島)
- 4 北部地域(三井・立野・小周防・上島田)



■あなたの光市の公共施設の利用状況についてお聞かせください。

問4 8ページの〈施設分類〉を参照して、それぞれの分類の過去1年間の利用状況を選んでください。(1つだけに○) 利用していない場合はその理由を選んでください。

※それぞれの施設の施設分類は、8ページ参照	利用状況					利用しない理由							
	1 週に3回以上	2 週に1〜2回程度	3 月に1〜2回程度	4 年に数回程度	5 利用していない	【利用状況で「5利用していない」を選択した場合のみ回答】 次の1〜8から、該当する理由の番号を選んでください。(最大3つまで○)							
	1	2	3	4	5	1 生活 上、 利用 する 必要 がない	2 サー ビス や設 備に 魅力 がない	3 民間 施設 や近 隣自 治体 の設 施を 利用 して いる	4 施設 があ る場 所が 不便 で、 行き づら い	5 施設 があ るこ とを 知ら ない	6 開館 時間 が合 わな い	7 施設 の利 用料 等の 料金 が高 い	8 その 他
(1)庁舎	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
(2)出張所	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
(3)公民館	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
(4)教育集会所	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
(5)その他社会教育施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
(6)文化施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
(7)スポーツ施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
(8)レクリエーション施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
(9)憩いの家・高齢者福祉施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
(10)健康交流施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
(11)ふれあいセンター	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8
(12)産業施設	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7	8

■今後の公共施設のあり方についてあなたのお考えをお聞かせください。

問5 1ページに記載してあるような状況の中、光市では人口減少を見据えた、将来の公共施設の量・質などを最適化する取組みを進めていこうと考えていますが、こうした取組みについてどう思いますか。(1つだけに○)

- 1 必要だと思う
- 2 どちらかという必要だと思う
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要を感じない
- 5 必要ないと思う



問6～問8をお答えください

問9をお答えください

問6 問5で「1 必要だと思う」「2 どちらかという必要だと思う」「3 どちらともいえない」を選んだ方におたずねします。

公共施設を維持していくための取組みについて、下表のような対応策が例として考えられますが、それぞれについてどう思いますか。(1つだけに○)

以下の対応策の例について、それぞれ右欄の1～4の中から当てはまるものを1つ選んでください		積極的に実施すべきだ	どちらかといえば実施すべきだ	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない
(1)	現在ある施設の統廃合や機能の複合化などによって総量（施設数・床面積）を減らす	1	2	3	4
(2)	施設の建替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する	1	2	3	4
(3)	施設の管理・運営を地域住民に任せる	1	2	3	4
(4)	施設を補強し長寿命化対策を施して、できるだけ長く使用する	1	2	3	4
(5)	近隣自治体と共同での施設建設・運営や施設の相互利用をする	1	2	3	4
(6)	老朽化した公共施設を建替えるより、民間施設の利用者に対して助成する	1	2	3	4
(7)	施設におけるサービスの水準を引き下げる	1	2	3	4

問7 問5で「1 必要だと思う」「2 どちらかという必要だと思う」「3 どちらともいえない」を選んだ方におたずねします。

光市が将来にわたり優先的に維持すべきと考える公共施設を、8ページの〈施設分類〉を参考に選んでください。(最大5つまで○)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 庁舎 | 12 産業施設 |
| 2 出張所 | 13 保育所 |
| 3 公民館 | 14 放課後児童クラブ等 |
| 4 教育集会所 | 15 在宅介護センター |
| 5 その他社会教育施設 | 16 障害者福祉施設 |
| 6 文化施設 | 17 その他福祉施設 |
| 7 スポーツ施設 | 18 保健施設 |
| 8 レクリエーション施設 | 19 小・中学校 |
| 9 憩いの家・高齢者福祉施設 | 20 幼稚園 |
| 10 健康交流施設 | 21 給食施設 |
| 11 ふれあいセンター | 22 市営住宅 |

問8 問5で「1 必要だと思う」「2 どちらかという必要だと思う」「3 どちらともいえない」を選んだ方におたずねします。

公共施設の廃止や統合を進めるとした場合、どのような施設から削減していけば良いと思いますか。削減しても良いと考える施設を選んでください。(最大3つまで○)

- 1 利用者が少ない施設
- 2 一部の個人・団体にしか使われない施設
- 3 建物・設備が古くなっている施設
- 4 建物・設備が他より劣っている施設
- 5 維持費用がかかりすぎる施設
- 6 民間の施設と機能が重複している施設
- 7 近隣自治体等の施設と機能が重複する施設
- 8 土地や建物が高く売れる施設
- 9 その他 ()

問10へお進みください

問9 問5で「4あまり必要を感じない」「5必要ないと思う」を選んだ方におたずねします。

公共施設の量・質などを最適化する取組みが必要ないと思う理由について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つだけに○)

- 1 公共施設はまだ不足しているので、今後も増やす必要があるから
- 2 今ある公共施設は必要のため、寿命を迎えた施設は同規模で建替えるべきだから
- 3 公共施設が提供しているサービスを、今後も維持する必要があるから
- 4 他の行政サービスの見直しを優先すべきだから
- 5 その他 ()

■公共施設使用料のあり方についてあなたのお考えをお聞かせください。

問10 公共施設を維持・運営していくためには、経営努力による経費の抑制を図ることはもちろんですが、それ以外にも財源確保に向けた取組みが必要になることも考えられます。

公共施設の維持管理や運営の経費は、何によって賄われるべきだと思いますか。(1つだけに○)

- 1 すべて施設を利用する人の負担(使用料)で賄うべき
- 2 施設を利用する人の負担(使用料)と、市民全体の負担(税金)で賄われるべき
- 3 すべて市民全体の負担(税金)で賄うべき
- 4 よくわからない
- 5 その他 ()

問11 施設の使用料の金額設定にあたり、考慮すべきと思われることは何ですか。(最大3つまで○)

- 1 施設の種類に応じた、利用者負担(使用料)と市民負担(税金)のバランス
- 2 近隣にある民間施設の料金
- 3 近隣自治体の公共施設の料金
- 4 平日・休日や日中・夜間等の料金設定の区分
- 5 利用者の急激な負担増への配慮
- 6 その他 ()

問 12 光市の公共施設の現状や将来のあり方についての意見を自由に記入してください。

設問は以上です。

このアンケート調査票は同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに締切の11月6日（金）までに、ポストにご投函ください。

ご協力ありがとうございました。



<問合せ・連絡先>
政策企画部 行政改革・情報推進課
行革・行政評価係
電 話：0833-72-1400
 (内線 221・228)
F A X：0833-72-1436

■〈施設分類〉（問４・問７を回答する際に参照してください）

(1)庁舎	市役所本庁舎、市役所別館、あいぱーく光、大和支所、教育委員会庁舎
(2)出張所	室積出張所、牛島出張所、浅江出張所、三島出張所、周防出張所
(3)公民館	室積公民館、伊保木公民館、牛島公民館、光井公民館、島田公民館、中島田公民館、浅江公民館、三島公民館、周防公民館、大和公民館、束荷公民館、塩田公民館
(4)教育集会所	昭和会館、汐浜集会所、虹川集会所、三輪集会所、若竹集会所
(5)その他社会教育施設	地域づくり支援センター、農村婦人の家、周防多目的集会所、勤労青少年ホーム、生涯学習センター、周防の森ロッジ、虹ヶ浜連合自治会館、虹ヶ浜西自治会館
(6)文化施設	市民ホール、図書館、図書館大和分室、文化センター、伊藤公資料館、大和歴史民俗資料館
(7)スポーツ施設	総合体育館、スポーツ館、勤労者体育センター、サン・アビリティーズ光、スポーツ公園、大和総合運動公園
(8)レクリエーション施設	フィッシングパーク光、冠山総合公園
(9)憩いの家・高齢者福祉施設	牛島憩いの家デイサービスセンター、東部憩いの家、西部憩いの家、やまとふれあいセンター、各地区老人憩いの家、各地区作業所
(10)健康交流施設	ゆーぱーく光
(11)ふれあいセンター	三輪福祉会館、あさえふれあいセンター
(12)産業施設	里の厨、テクノキャンパス研修センター、シルバーワークプラザ、農産物加工センター、虹川ライスセンター
(13)保育所	浅江東保育園、浅江南保育園、みたらい保育園、大和保育園
(14)放課後児童クラブ等	各サンホーム、わかば児童館
(15)在宅介護センター	東部在宅介護支援センター、西部在宅介護支援センター、しまた在宅介護支援センター
(16)障害者福祉施設	障害者（児）地域支援施設「海浜荘」、心身障害者福祉作業所あけぼの園
(17)その他福祉施設	大型共同作業場、共同作業場
(18)保健施設	大和保健センター、牛島診療所
(19)小・中学校	各小・中学校
(20)幼稚園	つるみ幼稚園、やよい幼稚園、さつき幼稚園
(21)給食施設	光学校給食センター、大和学校給食センター
(22)市営住宅	各市営住宅

光市公共施設に関するアンケート結果報告書

平成28年3月

発行／光市

編集／政策企画部行政改革・情報推進課

〒743-8501 光市中央六丁目1番1号

TEL : 0833 (72) 1400 (内線 228)

E-mail : gyoukaku@city.hikari.lg.jp